

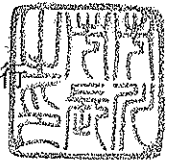


市川第 20070418-0224

平成 19 年 5 月 2 日

国土交通省道路局長

市川市長 千葉 光行



道路整備に関する中期的な計画の作成あたっの意見について

平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号にて依頼のあったこのことについては、  
別紙のとおり回答します。

【問い合わせ先】

市川市道路交通部交通計画課

担当 藤田

電話：047-334-1453

FAX：047-336-8437

## 道路整備に関する中期的な計画の作成にあたっての意見について

## ◇重点化を進める上で特に優先度の高い施策

重点化、優先度については地域特性もあると思われるが、以下の施策が考えられる。

- 1) 少子高齢社会を見据え、車重視から人重視へ視点を変えた施策
  - 無電柱化整備、歩道の整備、自転車道の整備、  
バリアフリー化の促進(全域の公共施設対象)
- 2) 少子高齢社会を見据えた交通体系の構築の施策
  - バス、鉄道等の公共交通を中心とした交通体系の再構築  
(公共交通の運行及び運行支援を含む)
  - パーク・アンド・ライド(バスライド)の普及
- 3) 渋滞原因の解消施策
  - 渋滞交差点の改良整備
  - 幹線道路の整備

## ◇効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- 1) 道路整備代替案への道路財源投入  
(バス、鉄道等の公共交通体系整備への財源投入)

## ◇その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関すること

本市にとっては以下の項目について整備優先度が高いものとする。

- 外かん道路及び接続する関連道路整備
- 外かん道路の環境保全空間における自転車道の整備
- 北千葉道路の整備  
外かん道路と接続することで整備効果が発揮される。  
(外かん道路～県道船橋我孫子線間の計画の早期具体化)
- 国道14号の整備  
無電柱化、歩道整備をはじめ、本市の東西方向の主要幹線道路としての整備。
- 国道等の主要道路における交差点改良  
国道357号、塩浜交差点の立体交差整備。

更に、本市を含む首都圏の交通体系を考えると、自動車交通を適切に配分し、捌くための都市計画道路等の計画的な道路網整備が必要であり、東京を中心とした放射状の道路と外かん道路や圏央道等の環状道路の整備が急務と考える。(3環状9放射の整備)